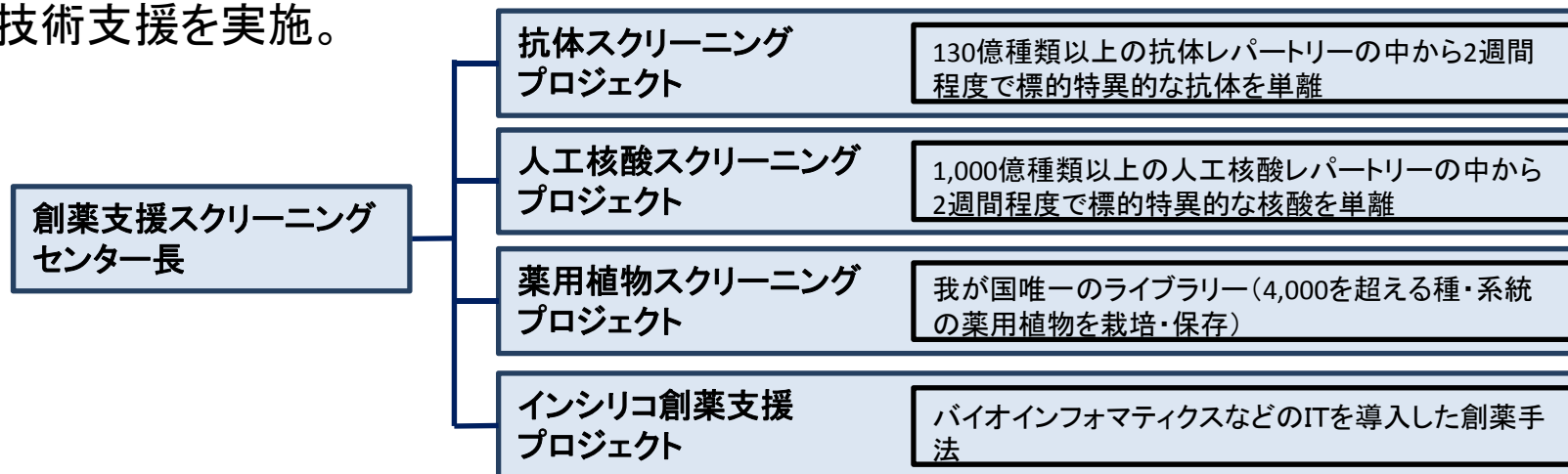


# 創薬支援ネットワークに係る 医薬基盤研究所における支援活動

(独)医薬基盤研究所  
平成26年10月6日

## 1 支援体制

創薬支援戦略室と同日(平成25年5月16日)に設置した創薬支援スクリーニングセンターを中心に、自ら研究部門を含めて所全体で、創薬支援戦略室をバックアップするとともに、技術支援を実施。



## 2 取組み状況

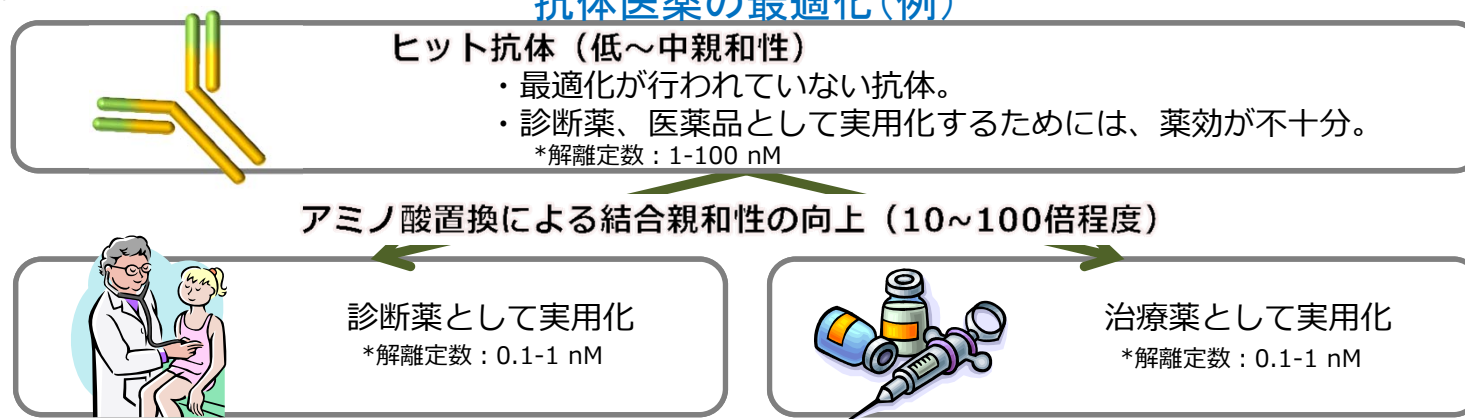
- 創薬支援ネットワークによる技術支援として、「新規がん治療薬のためのコンパニオン診断薬の探索」について抗体スクリーニング、「神経再生促進作用を持つ脊髄損傷治療薬の探索」について人工核酸スクリーニングをそれぞれ実施(9月末現在)。
- 抗体・核酸医薬開発、インシリコ創薬、ワクチン開発、霊長類等のモデル動物の使用等について、創薬支援戦略室のコーディネーターからの様々な技術的相談に対応する等、創薬支援戦略室を強かにバックアップ。
- スクリーニングセンターを中心に、全国の産学官の抗体・核酸医薬の研究者による連携体制を構築すること(「先駆けパッケージ戦略」(平成26年6月厚労省内PT)にも明記)を通じて、スクリーニング技術を精錬等。

## 1 創薬デザイン研究センター(仮称)の設置等による創薬支援の強化

- 抗体・人工核酸の専門家が集積する創薬支援スクリーニングセンターについて、抗体・人工核酸のスクリーニングと同時に、最適化のプロセスまで実施できる体制を整備し、新たに創薬デザイン研究センター(仮称)として設置(平成27年度概算要求)。

当センターにおいて、創薬支援ネットワークによる技術支援として、抗体・人工核酸のスクリーニングから最適化まで切れ目なく行うことにより、革新的なバイオ医薬品の創出に貢献。

### 抗体医薬の最適化(例)



- 創薬支援戦略室の移管後も、従来のつながりを活かし、引き続き、自ら研究部門を含めて所全体で創薬支援戦略室を強力にバックアップするとともに、技術支援を実施。

## 2 創薬支援ネットワークに貢献する創薬支援技術の研究開発

創薬支援ネットワークによる創薬支援に資するよう、インフォマティクスの強化、抗体・人工核酸スクリーニングの高度化、臨床予測性を向上させる生物資源の開発等の研究開発を実施。